



白木秀雄
クインテット

ジョージ川口
と
ビッグフォー・プラス

ドラム合戦

司会 石川庄一 (山陰放送アナウンサー) 本 亀 鷹 (山陰放送アナウンサー)

Member 白木秀雄 (ドラム)

昭和32年4月に結成したクインテットのリーダー白木秀雄は、昭和8年1月1日東京生まれ。小さい頃からタイコが大好きで、東京芸大打楽器科に学んだ彼は、広い豊かな音楽的教養を身につけており、戦後の我国のジャズ界に於ける最も輝かしいスターの一人である。そのクインテットは現在最も充実したメンバーを揃えていると言われ、その広いレパートリーと新しい感覚とで、第一級のモンスターコンボにふさわしい広範囲な活躍を続けている。新進指揮者の岩城宏之は芸大打楽器科の同期。

松本英彦 (テナー・サクソ)

昭和27年シックス・ジョーズに加わった頃から人気を増し、ジョージ川口の主宰するビッグフォー等を経て、昭和34年7月、このクインテットに参加、名実共に日本における最高のテナー・サクソ奏者で我国では殆んど唯一の完全なミュージシャンといわれる程の水準に達しており、「スリーピー」のニックネームと共に、その実力は広く海外にまで知られている。大正15年、広島県生まれ。

小俣尚也 (トランペット)

昭和35年10月から、それまでの福原彰に代ってこのクインテットに参加。モダン派ジャズメンの雄であり、そのハイ・レート・ヒッターとしての妙技など將に実力No.1のトランペッターである。白木秀雄と共にブルーコート出身。

世良譲 (ピアノ)

昭和33年、八代一夫の後を継いで入団。徹底的にニューヨーク派のモダンピアノを研究した若手のトップピアニスト。クラシックをやったこともあり、その独特なタッチを示す力柄は高く評価されている。最近ではセロニアス・モンクを研究中とか。昭和7年、島根県生まれ。

栗田八郎 (ベース)

ソロを弾かせては右に出る者がいないモダンベースの名手で、どんな速いテンポでも平気で驚くべき正確なテクニックで演奏する。地味な中にも正しい音楽性を持ち、常に白木の良いリズム・メイツである。昭和7年東京生まれ。

Member ジョージ川口

過去数回三つのジャズの歴史スピーディーにみ合わせた、ポートナーがビッグフォーからアイドル・メンを

林鉄

我が国随一のは定評がある。ソング・トランペッター。おかしな再録を克服、奇蹟の送)の一時重音ックとフー、川口の誘い、みながかか

中山進

今や渡辺貞夫に評価され、常にラエティに富み、男性的な逞し見事である。往、上田剛と二回ビッグフォー

吉場常

小野満、栗三レイは定評が熟味さえ加わり、コンデとゲイ、シックスジョー、の實力の程はジョージの片腕と

渋谷

昭和14年生れ、をジョージ川口、モダンイズされ、べきで、その豊